

目次

日中社会学会第30回大会について  
第39回 総会報告 . . . . . 1  
理事会報告 . . . . . 3

新入会員の声 . . . . . 4  
事務局からのお知らせ . . . . . 6

日中社会学会第30回大会について

日中社会学会第30回大会が、筑波大学において、2018年6月2日(土)～6月3日(日)にかけて、下記のとおり開催されました。

報告内容は、日中社会学会ウェブサイトをご参照ください(メニュー「大会」より日中社会学会第30回大会報告要旨/会員パスワードが必要です)。  
<http://www.japan-china-sociology.org/?p=948>

■ 第39回総会報告

開催日：2018年6月2日(土)

開催場所：筑波大学

陳立行会員が議長に選出され、議事に入りました。

第1号議案 2017年度事業報告

以下の各項目について、事務局および各担当理事より報告がなされました。

1. 研究大会の開催 2017.6.3～6.4(大阪大学)
2. 機関誌『日中社会学研究』第25号編集発行(2017.10、300部)、第26号編集

3. 機関誌『21世紀東アジア社会学』第9号編集発行(2018.3)、第10号編集
4. 「ニューズレター」発行 2回 77号(2017.5)、78号(2018.3)
5. 理事会開催 2回 2017.6.3、6.4(＋ネットによる持ち回り理事会9回)
6. ホームページ、メーリングリストの運営
7. 学会誌の電子化公開：『21世紀東アジア社会学』8号(J-stageへの掲載)
8. 会員概況 入会25名、退会8名 現会員209名 一般134名(うち名誉会員1名、顧問2名)、学生73名 \*2018年5月末

第2号議案 2017年度会計報告

会計担当理事より、当日配布された資料にもとづき、Ⅰ. 一般会計報告、Ⅱ. 第29回大会・第38回総会特別会計について、会計担当・鈴木理事より報告がなされました。

第3号議案 2017年度監査報告

監査結果について、資料に基づき、監査より報告がなされました。

決算報告および会計監査報告を受け、

2017 年度決算が賛成多数で承認されました。

## I 一般会計報告

収入総額	1,883,187
支出総額	716,580
差し引き残額(次年度繰越金)	1,166,607

### ※残額内訳

郵便局定期預金	0
郵便振替口座	0
PayPal口座	0
郵便局普通口座	1,156,554
現金	10,053
合計	1,166,607

### 収入の部

費目	予算額	決算額	増減額
前年度繰越金	1,122,749	1,113,180	▲ 9,569
年会費	800,000	764,000	▲ 36,000
機関誌販売	110,000	6,000	▲ 104,000
雑収入 *	100	7	▲ 93
合計	2,032,849	1,883,187	▲ 149,662

\*預金利息

## II 第 29 回大会・第 38 回総会特別会計

日時 2017年6月3日・4日  
 会場 大阪大学人間科学部 (吹田キャンパス)  
 大会会計担当者 大谷順子

収入総額	325,000
支出総額	325,000
残額	0

### 収入の部

大会参加費	112,000	会員(37名)・非会員(6名)(2,000円)43名、学生会員(1,000円)26名
懇親会費	113,000	一般(4,000円)23名、学生(3,000円)7名
大会補助	100,000	学会一般会計より
計	325,000	

### 支出の部

事務費	814	文具等消耗品
運営費	8,096	要旨集作成
雑費	3,090	印刷コピー代
通信費	0	
会場使用料	0	(開催校シンボは共催の科研究費より支出)
シンポジスト旅費	0	
懇親会費	110,000	
実行委員長補佐	90,000	2名
謝金(学生)	113,000	前日準備および当日(2日間)
計	325,000	

## 第 3 号議案 2017 年度監査報告

監査結果について報告が行われ、承認されました(監査欠席により事務局代読)。

## 第 4 号議案 理事の承認

日中社会学会役員選出規程第 2 条 5 により、理事会が委嘱した新理事が承認されました。

『日中社会学研究』担当理事:

李明伍理事(和洋女子大学)

聶海松理事(東京農工大学)

『21 世紀東アジア社会学』担当理事:

伍嘉誠理事(長崎大学)

## 第 5 号議案 2018 年度事業計画案

以下の各項目について、事務局および各担当理事より事業計画案の説明がなされました。賛成多数により承認されました。

1. 研究大会の開催:2018 年 6 月 2 日～3 日、開催校:筑波大学
2. 『日中社会学研究』:第 26 号編集発行、第 27 号編集
3. 『日中社会学研究』:第 24 号と 25 号電子化
4. 『21 世紀東アジア社会学』:第 10 号編集発行、第 11 号編集
5. 『21 世紀東アジア社会学』:第 9 号、10 号 J-stage 上での公開
6. 研究会開催:2～3 回
7. 中日社会学会のとの交流(中日社会学専門委員会年次大会への参加)
8. ホームページ・メーリングリストの運営、コンテンツ充実(「ニューズレター」改革)
9. 理事会開催:2～3 回

10. 会員名簿の作成  
 11. 研究活動の一層の充実  
 ①海外研究者とのネットワーク構築  
 (中国在住会員、中日社会学学会専門委員会、香港アジア研究学会とのネットワーク強化等)  
 ②社会学系コンソーシアムへの協力

### 第6号議案 2018年度予算案

事務局から説明がなされ、賛成多数で承認されました。

号(J-stage) 登載作業

- \* 3 学会託児補助
- \* 4 社会学系コンソーシアム会費

### 第7号議案 次年度大会・総会の開催地・開催校について

東京農工大学(大会実行委員長・轟海松会員)にて開催されることが報告されました。

以上。

(事務局 南裕子)

### ■理事会報告

#### 収入の部

費目	予算額	参考:前年度予算
前年度繰越金	1,166,607	1,122,794
会費収入	800,000	800,000
機関誌販売	6,000	110,000
雑収入	100	100
合計	1,972,707	2,032,894

日時: 2018年6月2日(土) 11:00~12:30、6月3日(日) 12:20~13:25

場所: 筑波大学 第一エリア1C棟402  
 出席者(敬称略、順不同):

穂山新、浅野慎一、石井健一、江口伸吾(2日)、鈴木未来、坂部晶子(3日)、首藤明和(3日)、中村圭、中村則弘、永野武(3日)、奈倉京子(3日)、西原和久(3日)、轟海松、松木孝文、李妍焱(2日)、南裕子

#### 支出の部

費目	予算額	参考:前年度予算
『日中社会学研究』制作費*1	430,000	400,000
事業費(学会誌電子化)*2	300,000	200,000
事業費(その他)*3	15,000	
事務費	20,000	20,000
通信費	80,000	100,000
会議費	20,000	40,000
事務局補助謝金	30,000	30,000
大会補助	200,000	200,000
年会費*4	10,000	10,000
予備費	867,707	882,894
合計	1,972,707	1,882,894

#### 審議事項

##### (1) 第39回総会議案

→承認

##### (2) 次年度開催校

東京農工大学、大会実行委員長: 轟海松理事にお引き受けいただいた。

##### (3) 『日中社会学研究』

投稿規定改訂(『日中社会学研究』編集担当理事) →修正意見を反映して改訂版とする。

\* 1 25号印刷

\* 2 21世紀東アジア社会学 Jstage 搭載作業(9号, 10号分)、日中社会学研究 24号(従来 DB), 25

#### (4) 大会自由報告エントリー関連 (大会担当理事)

##### 1) 報告での使用言語

次回大会では、「英語報告セッション」「中国語報告セッション」を1つずつ設ける。報告希望者が1セッションの報告者定員を上回った場合は選抜を行う。

ただし、日本の大学院に在籍する中国人留学生の中国語での報告は受け付けない。

##### 2) 連名の報告者の会員資格

会員であることを要件とはしない。これまでのように、これを機会に入会を呼びかける。個々の申請について理事会で判断する。

#### (5) 研究会関連事項

##### 1) 中日社会学会との交流(会長、研究担当理事)

2018年11月16-18日(予定) 中日社会学会専門委員会年次大会@浙江大学

- ・先方からの招待2-3名の人選:候補者を首藤会長まで推薦する。
- ・自由報告:ML、HP広報→上記招待枠と共に、6月中にとりまとめて先方の事務局に連絡する。

##### 2) 研究会活動の活性化について

秋(冬)に研究集会を開催する。会場は成城大学にお願いする。研究担当理事、理事会からの依頼報告者(会員が関心を寄せる研究)と学会誌投稿を控えた若手研究者による研究集会。

#### (6) 理事休職にとまなう新理事の選出

大谷順子理事の産休に伴い、伍嘉誠会員(長崎大学)に理事(『21世紀東アジア社会学』編集担当)を委嘱する。

#### (7) 会員名簿の作成について

掲載情報の入力、確認をweb上でできないかを検討する。

#### 報告事項

##### (1) 在外会員の会費の扱い

もとは国内会員、その後帰国により連絡先不明→在外会員会費納入の新会則(2016年度より適用)の連絡できず→その後、大会への報告申し込み・学会誌投稿エントリーの場合の会費請求⇒2016年度からの滞納として、国内会員同様に対応する。

(滞納開始年度から3年分を納入して退会、当該年度の会費を支払い再入会)

##### (2) 『21世紀東アジア社会学』第10号エントリー状況と査読協力をお願い

以上。  
(事務局 南裕子)

---

#### ■新入会員の声

---

##### 王作造(おう さくぞう)

所属:京都大学大学院文学研究科社会学専修博士後期課程

研究領域:地域社会学、インドネシア研究、貧困文化論

自己紹介:京都大学社会学研究室の王作造です。現在、インドネシアのマドゥラ社会における社会的排除について研究しています。インドネシア社会は、アメリカの文化人

類学者クリフォード・ギアーツ以来、地域的、民族的、宗教的な多様性と統一された国民国家としての単一性と統合困難な矛盾事例として、とりあげられてきました。私は、こうした多様性の可能性と困難に直面するインドネシア社会について、ジャワという「世界単位」を社会的に意味づけ可能な社会的空間として注目しながら、危険を回避させるメカニズムの中でマドゥラ人の地位と動きを把握しています。

### 張 希靚 (ちょう きりょう)

所属：筑波大学大学院社会科学部国際公共政策専攻

研究領域：東アジア国際関係、公共政策、コミュニケーション・情報・メディア

自己紹介：筑波大学大学院の国際公共政策選考に在籍している、張望靚と申します。中国の国営メディアがSNS上における世論対策の変遷についての論文を執筆しております。本学会を通して多くの方と交流ができることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 森田 金清 (もりた かねきよ)

所属：和歌山大学観光学部博士後期課程

研究領域：観光経済学

自己紹介：現在静岡県熱海温泉で月の栖熱海聚楽ホテルという旅館を営ませていただきながら、和歌山大学観光学部で博士修得を目指し

ております。ご指導の程どうぞよろしくお願い致します。

### 王 曉音 (おう ぎょうおん)

所属：慶應義塾大学大学院社会学研究科（博士課程）

研究領域：国際社会学、移民研究

自己紹介：中国瀋陽市出身の王晓音と申します。滞日する中国高度人材の移動に関心があり、現在インタビュー調査と参与観察を行っており、質的研究により彼・彼女らの日中社会を跨いだ移動の実態を明らかにしたいです。よろしくお願い申し上げます。

### 張 偉霞 (ちょう いか)

所属：神戸大学大学院人文学研究科社会学博士後期課程

研究領域：日本に滞在しているニューカマー、及びかれらの子どもの教育

自己紹介：私は中国の農村部出身で、日本にいる間に日本の田舎に行った時、まるで自分の故郷に帰った感じがします。日本の田舎の少子高齢化問題の厳しさを聞くたびに、いつも少しでも力になれるならいいなと思います。様々な社会問題が国籍、民族、文化などを越えて私たちの心に響くことを日本で経験しています。

### 鄧 爾瑩 (でん えいいん)

所属：京都大学大学院農学研究科生物資源学専攻

研究領域：農村社会学

自己紹介：中国広東省からの留学生で

す。農家出身ではないですが畑仕事は趣味としています。中国及び日本における持続可能な農業を実践している小規模農家、特に帰郷して就農する若者を主な研究対象として勉強しています。

### 華 金玲 (はな きんれい)

所属：慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師

研究領域：中国地域研究、消費者行動とライフスタイル

自己紹介：2008年まで会員でお世話になっておりました。育児から解放されつつありますので、研究活動の再開を機に再入会を希望いたします。

### 李 萌 (り もう)

所属：島根県立大学北東アジア開発研究科博士後期

研究領域：社会学、エスニック・マイノリティ論

自己紹介：現在、日本に在留する中国にルーツをもつ女性を事例として、多文化化が進む日本社会における「従属的他者」の実態と、彼女らに対する社会的包摂・排除構造を検討しております。宜しくお願い致します。

### 喻 小雨 (ゆ しょうう)

所属：京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻農学原論分野

研究領域：中国の農地制度、小規模農家と再小農化

自己紹介：農業や食に関わる技術や領域が広く深くなるにつれて、農業

や食はよりグローバルで大規模になる傾向があります。しかし、中国の多くの農民は小規模農業で生計を立てています。中国における再小農化の可能性を研究したいです。

---

## ■事務局からのお知らせ

---

### ■事務局からのお願い

#### □メルマガ届いていますか？

本学会では、メーリングリストによる広報を行っています。事務局へご登録いただいたメールアドレスへ、「日中社会学会メルマガジン」が配信されます。

登録がまだの方、また、メールアドレスに変更のあった場合は、事務局までお知らせください。

#### □情報をお寄せください

会員の皆様で、出版物のご案内や研究会・シンポジウムの開催のご案内などがございましたら、事務局まで情報をお寄せください。

#### □会費納入のお願い

学会活動は皆さまからの会費で支えられております。2018年度までの会費納入をお願いいたします。一般会員6000円、学生会員4000円です。

日中社会学会・郵便口座

口座記号番号：00140-9-161801

加入者名：日中社会学会

\*インターネットバンキング等、銀行からのお振込みの場合は、

店名：〇一九店 店番：019  
口座番号：0161801

**日中社会学会ニューズレター No.80**

です。

**発行：日中社会学会事務局**

〒186-8601 東京都国立市中 2 - 1

一橋大学・南裕子研究室

Info # # japan-china-sociology.org

(# # を@に変更してください)

tel: 042-580-8810 (研究室直通)

fax: 042-580-8799 (共同研究室のため南宛  
を明記してください)

**編集：松木 孝文 (大同大学)**

〇日中社会学会・公式 HP

<http://www.japan-china-sociology.org/>

発行日：2019年3月